

「家」と「まち」をゆるやかに繋ぎ
開放的なまちなみを育てる

暮らしの風景を育む活動 募集

受賞団体に 年30万円×3年

※受賞団体には、30万円(1団体・1年あたり)を3年間、維持管理活動の推進のために支援します



2024年度 住まいのまちなみ優秀賞
てらけい自治会、建築・緑地協定推進委員会 (兵庫県神戸市垂水区)



2024年度 国土交通大臣賞 月見町第1ガーデンハイツ自治会 (奈良県生駒市)

緑豊かなまちに多世代が集まる
リビングのような場所づくり



笑顔が響きあい、まちが輝く

2024年度 住まいのまちなみ賞 一般社団法人清水沢プロジェクト (北海道夕張市)

まちの遺産と文化を継承し
地域全体を博物館のように守る



募集対象・応募図書・受賞事例など、
詳しくはホームページをご覧ください

まちなみコンクール
<https://www.machinami.or.jp/>



2025年度 第21回
国土交通省まちづくり月間関連表彰

住まいの まちなみ コンクール

【表彰】国土交通大臣賞1点、住まいのまちなみ賞数点を予定予定。

【募集対象】良好な景観が形成されている、もしくは形成の過程にある一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちなみづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。なお、戸建て住宅に限らず、集合住宅等の住宅地で活動している団体も対象となります。(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。)

【審査委員会】審査委員長 大月敏雄(東京大学教授)

五十音順 審査委員 岡田昭人(まちづくりプランナー)、青木崇人(神戸芸術工科大学名誉教授)、坂井文(東京都市大学教授)、森まゆみ(作家・編集者)、国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当)(予定)、国土交通省大臣官房審議官(住宅局担当)(予定)

主催 一般財団法人住宅生産振興財団

後援 国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、一般社団法人住宅生産団体連合会、公益社団法人日本建築士会連合会、(予定) 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

協賛 旭化成ホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナソニック ホームズ、ミサワホーム、三井ホーム (株式会社を省略、五十音順)

エントリー期間

2025.5.1[木] → 7.15[火]

昨年度の受賞団体の表彰式と事例発表等を2025年7月11日(金)に行います。詳しくは、6月頃に財団ホームページでご案内する予定です。応募図書提出締切 7.31[木]

2025年度
第21回

住まいのまちなみコンクール

エントリー期間

2025.5.1[木]→7.15[火] 応募図書提出締切 7.31[木]

暮らしの風景を育む活動を募集します

まちなみの形成には 地域の方々による 継続的な維持管理 運営

コミュニティの形成等の多様な取り組みが必要となります

住まいのまちなみコンクールは このような活動に取り組む住民組織の皆さまをまちづくりのモデルとして表彰し支援するとともに これらの取り組みを各地でまちなみ形成に取り組む方々に広く情報提供し 活動の一助としていただくことを目的としています

同コンクールで
全国97団体(過去20回開催)が
受賞しています



募集対象

1. 良好な景観が形成されている、もしくは形成の過程にある一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。
ただし、伝統的建造物群保存地区内の住宅地は、除きます。なお、維持管理対象の住宅地の住宅は、戸建て住宅に限らず、集合住宅等も可です。

2. 対象となる団体は、次の両方に該当するものとします。
ア. 地域の維持管理活動を行っている団体であること。
イ. 地域の活動の根拠となる規約などが文書化されていること。

(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。なお、法人格の有無は問いません。)

選考方法

提出図書をもとに、審査委員会において選考します。
なお、必要に応じて追加資料等の提出要請、現地調査を行う場合があります。

選考の主なポイント

次に掲げる取り組み等を特に評価します。

ア. まちなみに関する取り組み内容等

- ・維持管理している住宅地が、住まいの美しいまちなみ景観を有している
- ・継続的な景観維持活動を通じ、景観を育て、より成熟させている
- ・建築協定など、まちなみのルールを有している
- ・まちづくりにおける社会的課題に取り組んでいる
(社会的課題への取り組みの例としては、活力の低下が見られる街の再生、脱炭素、防災、高齢化対応、子育て支援、空き家・空き地の利活用、住み替え支援、農ある暮らし等が挙げられます)

イ. 取り組みの体制

- ・多人数によるまちなみの維持管理活動が行われている
- ・多世代による取り組み、対象住宅地の外に住まわれている方との協働、複数の団体による協働等が行われている

ウ. 取り組みに関する期間

- ・一定期間継続してまちなみの維持管理活動が行われている

エ. 他地域に対するモデル性

- ・取り組みの内容等が、他地域で同様の課題に取り組んでいる団体のモデルになりうると認められる

応募方法 (詳しくは当財団HPをご覧ください。)

1. 提出様式…エントリー・応募図書の様式は当財団のHPからダウンロードしてください。
2. 提出方法…郵送またはメールで提出してください。
3. 提出締切…エントリー期間: 2025年5月1日(木)～2025年7月15日(火)
応募図書提出締切: 2025年7月31日(木)
※個人情報について…応募者の個人情報は、運営に必要な範囲外の目的には使用いたしません。

維持管理活動の支援

1. 支援方法 受賞決定後、受賞者と内容を協議の上、維持管理活動の推進費用として30万円(1団体・1年あたり)を3年間支援いたします。
2. 支援内容 維持管理の向上に関する団体活動等に充当してください。
3. 報告書の提出 所定の様式で報告書を提出していただきます。
報告していただいた内容は公開します。
4. まちネットへの参加 これまでの受賞団体等をメンバーとして「すまいのまちなみネットワーク(まちネット)」として活動しています。
お互いの活動の紹介等、情報交換や親睦を図っています。
受賞団体には、本会への参加をお願いしています。
5. その他 活動状況の紹介等を行う場合にはご協力ください。

選考結果の発表

2026年1月に、応募者へ書面にて通知するほか当財団のHPにて公開します。

応募図書送付先[郵送またはメール]・問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば、下記事務局までご連絡ください。

一般財団法人住宅生産振興財団内 住まいのまちなみコンクール事務局
担当 / 沢田・石川

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル5階
TEL 03-5733-6733 FAX 03-5733-6736
Email/contest@machinami.or.jp

住宅生産振興財団ホームページ

<https://www.machinami.or.jp>

まちなみコンクール

検索



2024年度 第20回「住まいのまちなみコンクール」受賞団体紹介

[国土交通大臣賞]

月見町第1ガーデンハイツ自治会

(奈良県生駒市)

約1.8ha/集合住宅180戸/自治会

生駒山を借景として望む丘の上にある緑豊かな分譲集合住宅団地。敷地内には屋外プールがあり、年中みんなが集まるまちのリビングのような場所となっている。このプールに象徴されるように、多世代にわたる住民が自主管理を通して生活価値を育む活動を継続してきたことによって、多世代にとって住みたいまちとして評価されている。

[住まいのまちなみ優秀賞]

てらいけ自治会、建築・緑地協定運営委員会

(兵庫県神戸市垂水区)

約12.2ha/戸建住宅162戸/
自治会、建築・緑地協定運営委員会

URが開発した「ガーデンシティ舞多間」の最後に完成した、まちなみづくり正統派ともいえる戸建て住宅地。柔軟に運用されるまちなみ形成ルールのもと、宅地と道路の間の緑地空間の歩道的利用やガレージの集会所的利用等、個人の資産を開放的にまちに提供しあっている。個人の善意に基づきながらみんなの居場所が生まれ、まちの魅力になっている。

[住まいのまちなみ賞]

一般社団法人清水沢プロジェクト

(北海道夕張市)

約30ha/戸建住宅20戸、集合住宅約180戸(うち旧炭鉱住宅60戸)/
社団法人

1970年代に整備された炭鉱住宅地、地域全体を博物館と捉えたエコミュージアムとして、現在も生活が営まれている炭鉱住宅や石炭産出ルートのしぐみが体感できる炭鉱遺産、地域文化の継承に取り組んでいる。今後は、静かな暮らしを守りながらも、抑制の効いた観光などの新たななりわいを創造する中で、関係人口の増加や担い手の輪を広げていくことに期待したい。